

参考

Instructions for Authors 参考和訳

(オリジナルは ROBOMECH Journal ホームページ掲載の英文です。参考としてご覧ください)

投稿プロセス

原稿は、著者の一人より投稿し、代表で誰でも良い訳ではありません、投稿著者は投稿・査読期間中、原稿に関しての責任を負います。

ROBOMECH Journal は受諾研究論文に論文掲載料が発生することを留意下さい。論文投稿著者機関が、SpringerOpenmember の場合、論文掲載料は会員掲載料となります。(詳細は About ページを参照。)

論文投稿著者機関が会員の場合は、投稿は自動的に会員と認められます。

迅速は掲載および事務処理を最小限にすべく ROBOMECH Journal は online submission (オンラインによる原稿投稿) を致します。

ファイルはバッチ、もしくは一つずつ投稿できます。投稿過程でいつでも中断できます。ユーザーがサイトに戻れば中断した所から続けることができます。

以下はワードプロセッサやグラフィックファイルフォーマットの例で、オンライン投稿システムにより主原稿記録のために受け取ることができます。いかなる種類の(映画、アニメ、あるいはオリジナルデータファイル)追加ファイルも原稿の一部として投稿可能です。

投稿中、カバーレターの提出を求められます。投稿理由、"About ROBOMECH Journal"ページの、エディトリアルポリシーに関してのご意見、潜在的競合利益の言及、はカバーレターに記載下さい。貴論文の第一査読(peer reviewers)候補者の連絡先(e-mail アドレス含)を確認する場合があります。本分野の専門家であり、論文を客観的に査定できる人物をお願いいたします。候補査定者は過去5年間でいかなる著者とも論文発行していないこと、現在共同研究をしていないこと、同じ研究期間所属ではないこと、として下さい。第二査読者 (reviewer) はエディトリアルポートメンバーもしくはアドバイザーの推薦に基づいて選出します、貴論文で特記する内容がありましたらカバーレターに記載下さい。

論文準備・投稿のプロセスは、SpringerOpen customer support team が助言致します。

論者に役立つツール・資料を Useful tool ページに集めてあります。

ファイルフォーマット

以下のフォーマットでの論文提出は可能です

- Microsoft word (DOC, DOCX)
- Rich text format (RTF)
- Portable document format (PDF)
- TeX/LaTeX
- DeVice Independent format (DVI)

TeX/LaTeX 使用者 : TeX フォーマット使用の際は [BioMed Central's TeX template and BibTeX stylefile](#) を使用して下さい。Tex での投稿中は、Tex ファイルを主原稿で、bib/bbl ファイルを依存ファイル

参考

(dependent file)として下さい。Tex ファイルを PDF に変換して、PDF を“Reference PDF”と明記して追加提出して下さい。この PDF は委員会内スタッフがレイアウト、等確認作業の参考資料として使用します。

図表は Tex ファイルの最後にコード化され、インラインしません事併せてご留意下さい。

他のテンプレートを使用しない、もしくは BibTex 使用を希望しない場合は、DVI ファイルにして論文提出をお願いします。RTF への変換はお勧めしません。

すべて Tex 提出の方は、投稿プロセス中、関連投稿資料が提出されます。提出内容が間違っておりますと発行手順が遅れます。

主原稿の準備

形式、言語の概要説明は以下の通りです。

主原稿

投稿受付原稿は以下の内容に分けて下さい。

Title page : タイトル

Abstract : 概要

Keywords : キーワード

Background : 研究背景

Methods : 方法

Results and discussion : 結果および討論

Conclusions : 結論

List of abbreviations used : 略語リスト (あれば)

Competing interests : 競合利益

Authors' contributions : 著者の寄与

Authors' information : 共著者情報

Acknowledgements : 謝辞

Endnotes : 結語

References : 参考文献

Illustrations and figures : イラスト 図

Tables and captions : 索引

Preparing additional files : 追加資料準備

標準報告は About セクション情報を使用して下さい。

Title page

タイトルページには、以下を記載して下さい。

- ・論文タイトル

参考

- ・ 全著者の名前、所属機関、e-mail のリスト
- ・ 共著者(corresponding author)の明記

Abstract : 概要

概要は350語を超えてはいけません。略語使用は最小限にして照会の明記はしないで下さい。

Keywords : キーワード

論文内容におけるキーワードを3～10記載。

Background : 研究背景

専門知識がない研究者でも理解できる内容であること。また研究への背景や目的がイラストであれば望ましい。論文の報告内容を最後に簡略明記すること。

Methods : 方法

研究デザイン、関連資料の内容、比較対照の明記、使用分析タイプ、等を盛り込みレプリケーションし易い様にする。

詳細は About the journal を参照すること。

Results and discussion : 結果および討論

Result (結果) と discussion (討論) はまとめても、別項目としてもよい。Result (結果) と discussion (討論) を短く informative heading としてサブセクションにしてもよい。

Conclusions : 結論

研究の週結論を明確に記載し、また、研究の重要性や関連事項も明確に説明すること。イラストを入れてもよい。

List of abbreviations used : 略語リスト

略語を使用している場合にはリストを作成、Competing interests Authors' contributions の前に掲載する。

Competing interests : 競合利益

貴論文データが他者もしくは他機関に影響を及ぼす場合には competing interest が存在する。著者は、いかなる競合利益も明記しなければいけない。また競合利益がない場合もまた、論文を発行、公開する前に、明らかにしなければいけない。

参考

著者はすべての競合利益の明記を求められる。全ての競合利益な発行論文の最後に掲載される。競合利益がない場合は、”The author(s) declare that they have not competing interests.”と記載される。

記載する際、以下を考慮して下さい。

競合利益

- ・過去5年で、論文に関連して機関より報酬を受けたことがあるか。その際は明記が必要
- ・機関の株を取得しているか。その際は、明記が必要
- ・論文内容で特許を取得、もしくは申請中か。報酬を受けているか。その際は明記が必要

競合利益がない場合

政治、個人、宗教、理連、学術、知的、商業、他、各方面より鑑み、本論文の競合利益はないか。なければ、その旨明記願います。

いずれか不明の場合は、エディトリアルオフィスに相談下さい。

Authors' contributions : 著者の寄与

各論文の信頼度を目的として、著者の個別寄与を、明記すること。

ICMJE ガイドラインに従い、著者とは発行論文に対し実質知的貢献をした者、と考える。著者は

- 1) 概念は設計、データ取得、データ分析および解明に実質的に寄与
- 2) 論文を草稿し重要知的内容の改定に関与し
- 3) 発行最終内容を承認し
- 4) 正確正当性の案件が適切に調査・解決されていると確認された業務全ての面に責務を負うことを容認しなければいけない。資金協力、データ集積、研究グループの一般指導、は著者とは認識されない。

以下の通り明記するよう提起しておく（イニシャルは適宜、各研究分やで相当方の名前を使用の事）

AB は細胞遺伝子研究を行い、配列アライメントに参画し、論文草稿を行った。

JY は免疫測定を行った。MT は配列アライメントに参画した。

ES は研究設計に参画し、統計解析を行った。FG は研究構想をおこない、設計調整に参画し、論文草稿助手をした。全著者は最終投稿論文を精読・承認した。

著者範疇に該当しない寄与者は、acknowledgment に記載する。指導教官、業務助手、事務作業助手、他一般業務の寄与者は例となる。

Authors' information : 著者情報

参考

読者の論文理解・著者理解に役立つ著者情報を記載してもよい。その際に著者の業績は現職、他関連情報を含めてもよい。参考としてイニシャルを使用する著者もいる。ただし、競合利益になるような使用はしてはいけない。

Acknowledgements : 謝辞

論文作成に寄与した方の謝辞を述べる。概念・設計、データ取得、解析・解明、草稿に関与し、また重要な内容のための改定に寄与した方、また著者範疇に該当しない方も含む。著者・論文準備のための資金協力も含む。著者は、もしあれば資金母体の役割も明記する。データ設計・集積・、分析・解明、論文作成作業、発行論文提出決定、等である。研究時重要な資料を寄与した方がいれば明記する。言語関連寄与者も、あった場合は明記する。

著者は、謝辞欄に明記する全ての人の承認をする。

Endnotes : 注釈

注釈は、テキスト内では、上付き小文字で明記し、全ての注釈は注釈欄にて明記する。リストではなく、パラグラフで本項をフォーマットして下さい。

References : 参考文献

テキスト、表、凡例内で使用した **Reference** 参考文献 (URL 含) は、番号順に角括弧で明記すること。各 **Reference** は個別に番号をつける。参考文献を多用しないこと。自動ナンバリングシステムを死傷の際は、**Reference** 番号は最終にし、**bibliography** (目録) を投稿前に完全にフォーマット化する。

発行済、印刷中もしくは e-プリント/プレプリント状態の論文や要約は、その旨明記すれば良いです。未発行の要約、データ、個別交換データは掲載してはいけないが、「**unpublished observation** 未発行状態」「**personal communication** (個別交換データ)」として関係研究者の名前を掲載するのは良い。未発行状態は個別交換データを掲載する許可は著者の責任で行うこと。**Footnote** は許可されないが、**Endnote** は認められる。**Reference** の明記は全著者名を含み、30 を上限とする。

参考文献内の印刷中論文や、査読者が論文評価での必要物は、エディトリアルオフィスの要望があった際には、入手しなければいけない。

Endnote ファイルは入手できる。

ROBOMECH Journal 参考文献 **Reference** 形式例は、以下の通り。**Reference** 形式は正確に行うこと。

Reference が正しい形式でない場合は再提出となります。

全ての **Web** リンク、**URL**、個人 **Web** サイトもテキスト内ではなく、**Reference** 番号をつけて **Reference** リストに含めること。サイトや **URL** の全タイトルを明記する。以下が例である。

The Mouse Tumor Biology Database[<http://tumor.informatics.jax.org/mtbwi/index.do>]

著者、著者グループが **Web** リンク、**Weblog** に関係している場合、**Reference** に含めること。

参考

ROBOMECH Journal 参考文献 Reference 形式例

<邦訳 略>

Illustrations and figures : イラスト 図

Illustration は別々のファイルで提出する、テキストファイルに組み込んではいけません。各 figure には一つの illustration として、1 頁シングルフォーマットにすること。ひとつの figure の一部が、別の個所にある場合、全ての部分を含めた一つの illustration を提出すること。

詳細は、figure preparation guideline の detailed instructions on maximising the quality of your figures を参照すること。

フォーマット

以下のファイルフォーマットが受付可能。

PDF (ダイアグラム用フォーマットが望ましい)

DOCX/DOC (単ページのみ)

PPTX/PPT (単スライドのみ)

EPS

PNG (フォトもしくは画像用フォーマットが望ましい。)

TIFF

JPEG

BMP

Figure Legends: 図 凡例

凡例は図 Figure ファイルの一部ではなく、ドキュメント最後の主原稿テキストファイルに含める事。各 figure に、次の情報を載せること。

- Figure No. (連番、アラビア番号で。例 Figure 1,2,3)
- Figure のショートタイトル (上限 15 語)
- 凡例詳細 (上限 300 語)

<注意>論文に掲載する前位に図表掲載時著作権保有者に許可を得るのは、著者の責務です。

Preparing tables: 表準備

各表(table)はアラビア数字で連番明記をすること (例 Table 1,2,3) Table は上部にタイトルを付け要約 (上限 15 語) をする。詳細凡例をつけてもよいが、正確であること。Table は連番順通りにテキストないで引用する。

小さな Table は論文必須項目として、A4 ポートレイトもしくはランドスケープフォーマットでテキストファイルドキュメントの最後にペーストできる。最終論文フォーマットで植字され掲載される。これら table

参考

は”Table object”でフォーマットする。Table Object はワープロプロ部ラムにあり、ファイルが査読者に電子的配信されたときにデータコラム（列）が配列状態であるのをご確認するものである。コラム（列）が単にタブからセパレートテキストに使用して発生した場合、常に起きるケースではありません。行（row）列（column）データは黒線で各セルの境界が分かりやすくされていること。カンマ（Commas）は数値明記で使わないこと。色づけ、陰影は使わないこと。Table の一部を Symbol や bold text でハイライトしても良いが、表凡例にて意味の説明をすること。Table を figure やセパレートシートファイルに組み込んではいけない。

ポートレートページに大きすぎる大きなデータセットや table は追加ファイルとして別にアップロードできる。追加ファイルは最後の論文レイアウト済 PDF に掲載せずに、著者が提出したファイルとしてリンクが提示される。

追加ファイルとして提供された Tabular data は Excel spreadsheet(.xls)もしくは comma separated values(.csv)でアップロードされる。全てのファイルに関しては標準ファイルエクステンションを使用下さい。

Preparing additional files : 追加ファイル準備

ROBOMECH Journal は一論文の掲載量に制限はしていないが、著者に追加ファイルとして dataset, table, movies, 他情報を推奨する。

<注意>追加ファイルは論文に沿って発行される。しかしながら特許、言語編集証明、トラック変更し主原稿を改定、等の内容を含めたファイルは含めないこと。追加ファイルは editorial@robomechjournal.com へ、論文 ID を明記してメールすること。

“data not shown”と掲示された場合は、追加ファイルを含めること。多くの weblink や URL が壊れるため、ROBOMECH Journal はサポーティングデータを追加ファイルに含める、もしくは認識できるリポジトリに置いておくよう要求する。個人/所属機関にデータをリンクしないで下さい。追加ファイルの上限は 20 MB、投稿時 virus-scanned する。

追加ファイルのフォーマットは不問、著者提供の最終発行としてダウンロード可能となる。Tabular data のため PDF より CSV を勧める。

一定のサポートされたファイルフォーマットは確認できブラウザでユーザにディスプレイされる。ここには以下ファイルを含む： movie format(Quicktime plugin のユーザー用)、ガイドラインに基づき準備されたミニウェブサイト、ケミカルストラクチャーファイル(MOL, PDB)、グラフィックデータファイル(KML)。

追加資料提供の場合は、以下の情報を論文テキストの別項目でリスト掲載下さい。

- ・ファイル名（例、追記ファイル1）

参考

- ・ファイルフォーマット (.pdf, .xls, .txt, .ppx 等正しいファイル拡張子を掲載。フォーマットが通常と異なる場合は名前、及び、適切ビューワーの URL)
- ・データタイトル
- ・データ概要

追記ファイルは「追記ファイル 1」等で明記して論文内でファイル名を正確に明記すること。

例： ‘An additional movie file shows this in more detail [see Additional file 1]’

Additional file formats: 追加ファイルフォーマット

理想として追加ファイルフォーマットの規定はせず、柔軟に受付したい所であるが、以下は適したフォーマットとなる。

追加資料

PDF (Adode Acrobat)

Animations

SWF (Shockwave Flash)

Movies

MP4 (MPEG 4)

MOV (Quicktime)

Tabular data

XLS, XLSX (Excel Spreadsheet)

CSV (Comma separated values)

figure ファイルは標準ファイル拡張子とする。

Mini-websites : ミニウェブサイト

個人のミニウェブサイトを追加ファイルとして提出できる。その際論文のテキスト HTML バージョンを閲覧できるようにすること。以下の指示に基づいて下さい。

- ・ルートに index.html (もしくは index.htm) で始まるファイルを含むフォルダーを作成する
- ・フォルダー、サブフォルダーにミニウェブサイト閲覧に必要なファイルを全て置く
- ・全てのリンクが関連している事を確認する。(例"images/picture.jpg" と明記。) 255 文字以上のリンクはできない。
- ・index.html にアクセスしてミニウェブサイトを閲覧、一番使用されているブラウザ(Internet Explorer もしくは Firefox)を確認し、問題なく全ミニウェブサイト閲覧ができるか確認し、別機種でも確認するのが望ましい。

参考

・フォルダーを ZIP に圧縮し、フルサイズが 20MB かを確認。index.html が ZIP のルートにあるかを確認する。拡張子が.zip となっているか確認。その後、貴論文と追加ファイルとして提出

Style and language : 形式、言語

概要

現在 ROBOMECH Journal は英語原稿のみ受け付け、英語・米語は不問だがスペリングは統一の事。

論文掲載料の明確な制限はないが、正確正当望まれる。

ROBOMECH Journal は投稿論文の形式は言語の編集はしない。査読者が論文不採時に文法エラーの指摘をする場合はある。著者は明確かつ端的に記載、提出前に同僚に確認をするよう推奨する。社内の編集サービスは規模が小さく、非英語圏者には編集サービスを選択できる事もある。

Language editing : 言語編集

言語編集サービスの希望者は Edanz を使用してください。10%割引となりますが、編集サービスを受けても投稿受諾の保証はしません。詳細は、個人で Edanz に連絡して下さい。

Help and advice on scientific writing : 科学論文の助言

Abstract が論文の最重要部分の一つです。Writing titles and abstracts for scientific articles を参照下さい。

Tim Albert が科学論文の指針を list of tips で紹介しております。American Scientist も科学論文資料を提供しております。

Abbreviation : 略語

略語はできる限り控えるべきである。最初は定義をして、主論文テキストの後に略語リストを掲載すること。

Typography : 印字

- ・ double line space を使用
- ・ unjustified でタイプ、ハイフンは使用しない
- ・ headings 終了、開業の際のみ強制改行
- ・ タイトルはファーストワードと人名のみ大文字、
- ・ 全ページにページ数明記
- ・ ROBOMECH Journal の reference format 使用
- ・ Footnote 使用不可、Endnote は容認
- ・ 複数コラムにテキストフォーマットをしない
- ・ ギリシャ語他、特殊文字は入れない事。

Units : 単位

参考

SI unit を使用のこと。但し liter, molar は使用可